

日向市における介護保険事業の現状について

厚生労働省が運営する地域包括ケア「見える化」システムを活用し、本市の介護保険事業の特徴を把握するために、要支援・要介護認定の状況やサービスの受給状況等について、類似保険者との比較を行いました。

1 類似保険者について

第9期介護保険事業計画策定時に比較対象とした類似保険者の情報と比較しました。

なお、類似保険者の選定は、宮崎県内と九州内において、総人口及び高齢化率が近似している5市としています。

本市と類似保険者の状況（第9期事業計画書より）

区分	日向市	日南市	八女市	玉名市	宇城市	日田市
総人口(人)	58,247	48,278	57,535	61,935	55,634	59,448
高齢化率(%)	32.3	38.5	36.4	34.2	34.9	35.7

総人口は総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」の2023年値
 高齢化率は総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」の2020年値

2 認定率について（第1号被保険者のみ）

（1）令和6年度認定率

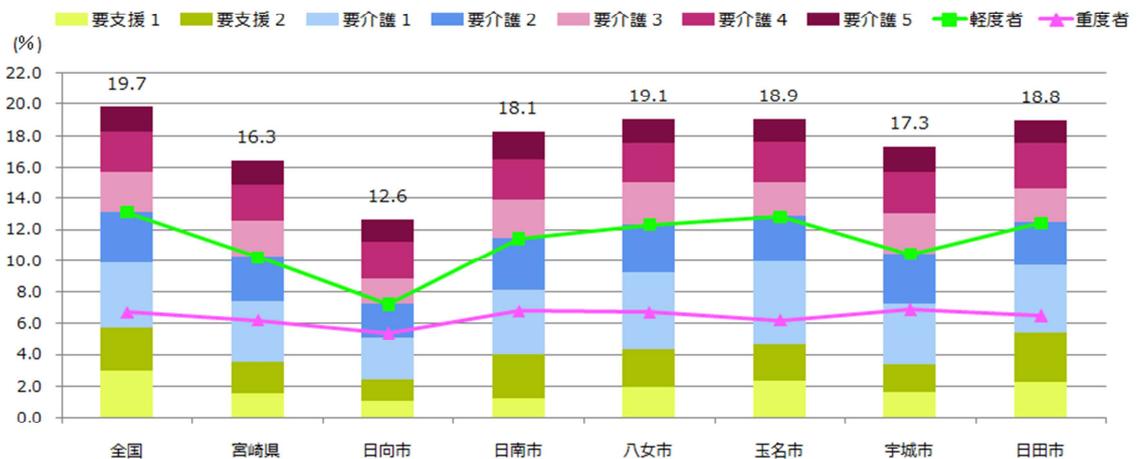
本市の令和6年度末の認定率は、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比較して、低くなっています。

特に、軽度者の認定率が低くなっています。

※軽度者は、要支援1・2、要介護1・2の認定者です。

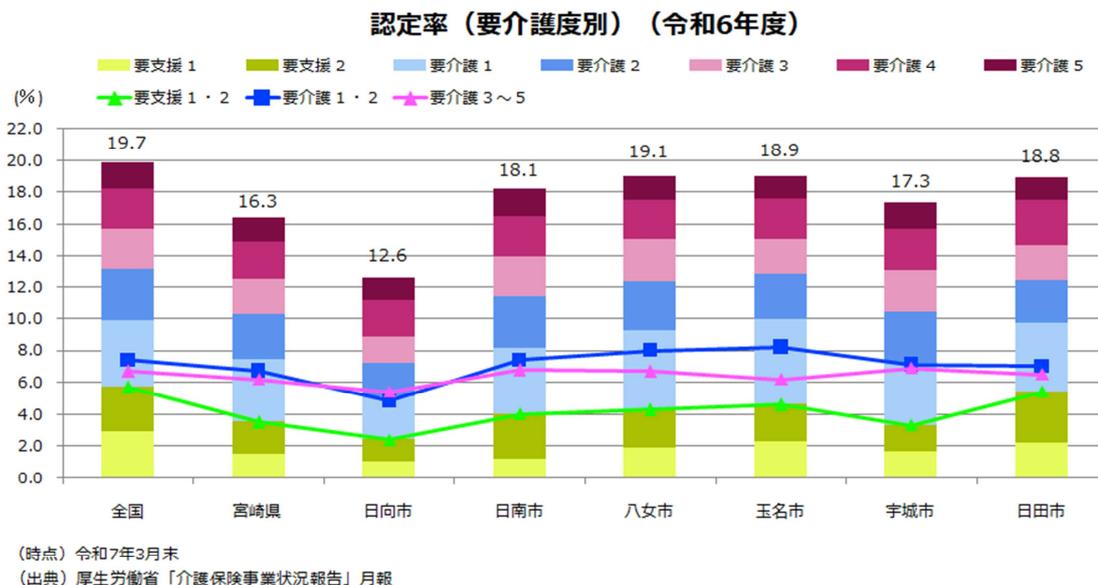
重度者は、要介護3・4・5の認定者です。

認定率（要介護度別）（令和6年度）



（時点）令和7年3月末
 （出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

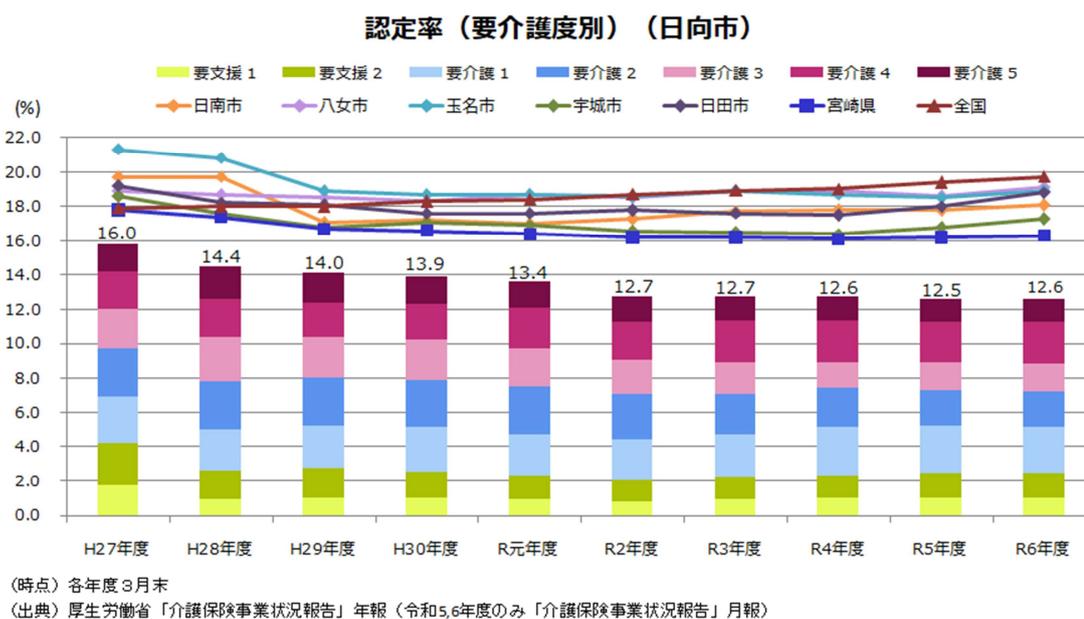
さらに、軽度者を要支援1・2と要介護1・2に分けて比較したところ、どちらの区分も認定率は低くなっており、類似保険者5市の平均値を100%として比較したところ、要支援1・2の認定率は56%、要介護1・2は64%程度となっています。



(2) 認定率（時系列）

認定率を時系列で比較すると、本市では平成27年度から平成28年度にかけて認定率が大きく減少していますが、これは、平成28年3月から総合事業を開始したことが影響していると考えています。

また、令和元年度から令和2年度にかけても認定率の減少が大きくなっていましたが、令和元年12月から福祉用具給付に係る独自事業を開始したことが、その一因と推察されます。令和2年度以降は、ほぼ横ばいで推移しています。

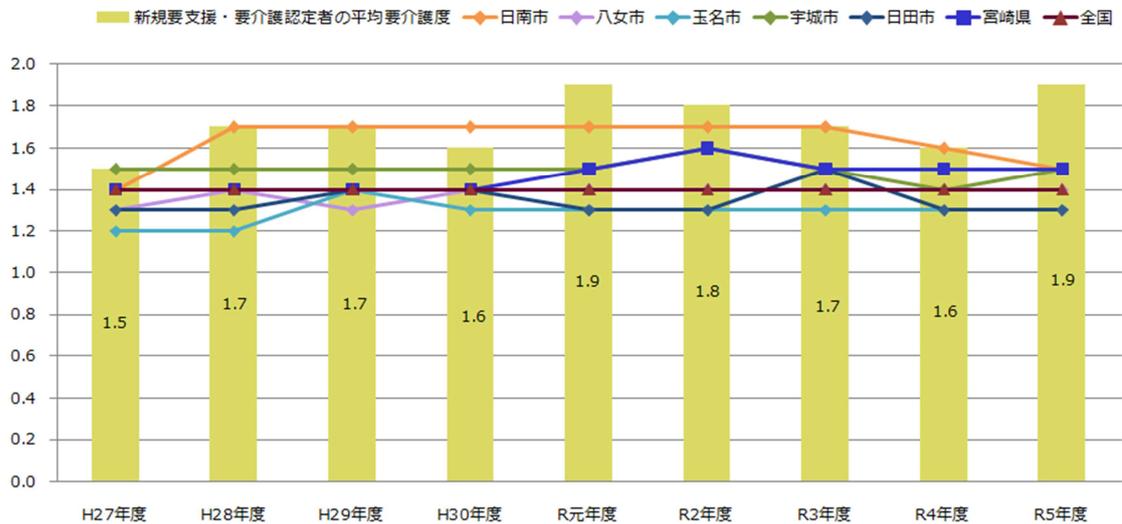


3 新規要支援・要介護認定者の平均要介護度及び要介護度別分布について

本市の新規要支援・要介護認定者の平均要介護度は、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比較して、高い傾向にあります。

このことは、認定率の低さが影響していると推察されますが、サービス利用が必要な被保険者の把握ができていない可能性があるため、その原因の検証が必要と考えています。

新規要支援・要介護認定者の平均要介護度（日向市）

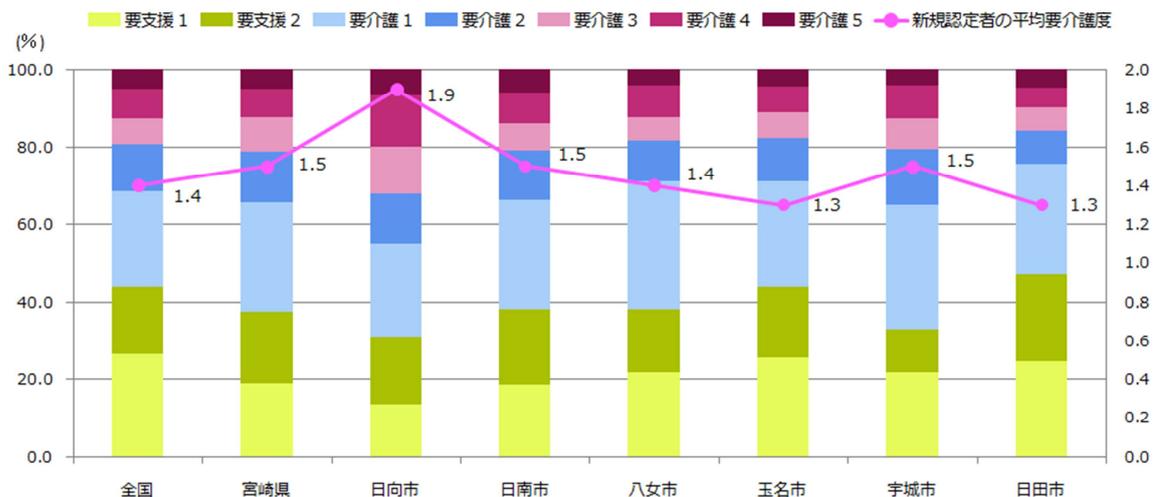


（出典）厚生労働省「介護保険総合データベース」（令和6年8月10日時点データにて集計）

※R6年度データは、まだ提供されていないため、R5年度データが最新データとなります。

さらに、要介護度別の分布で見ると、要支援1の割合が低く、要介護4の割合が高くなっており、新規要支援・要介護認定者の平均要介護度が高いことに対する原因の一つになっていると考えられます。

新規要支援・要介護認定者の要介護度別分布（令和5年度）



（時点）令和5年度

（出典）厚生労働省「介護保険総合データベース」（令和6年8月10日時点データにて集計）

※R6年度データは、まだ提供されていないため、R5年度データが最新データとなります。

4 受給率（サービス系列別）について

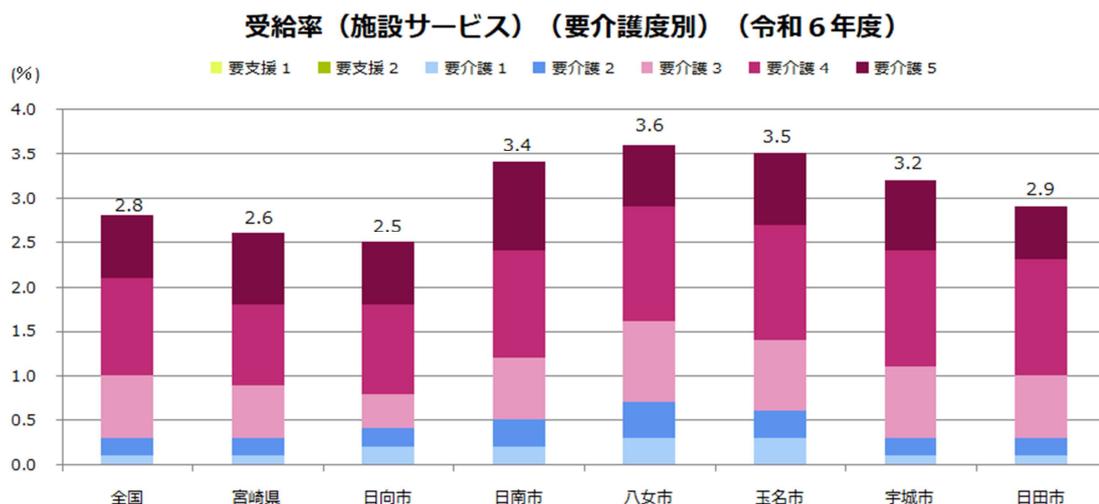
※「受給率」とは、各サービス系列別の受給者数を、第1号被保険者数で除した数です。

(1) 施設サービスの受給率

※「施設サービス」とは、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院のサービスです。

①令和6年度の施設サービス受給率

本市の令和6年度の施設サービスの受給率は、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比べて、低くなっています。

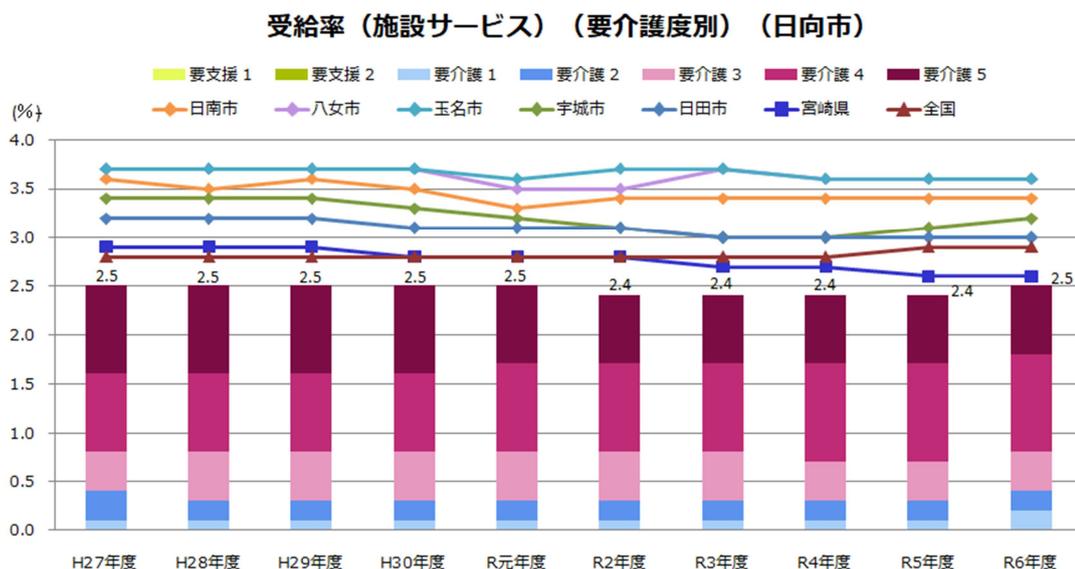


(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

②施設サービスの受給率（時系列）

受給率を時系列で比較すると、ほぼ横ばいで推移しています。

また、どの年度においても、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比べて、低くなっています。



(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

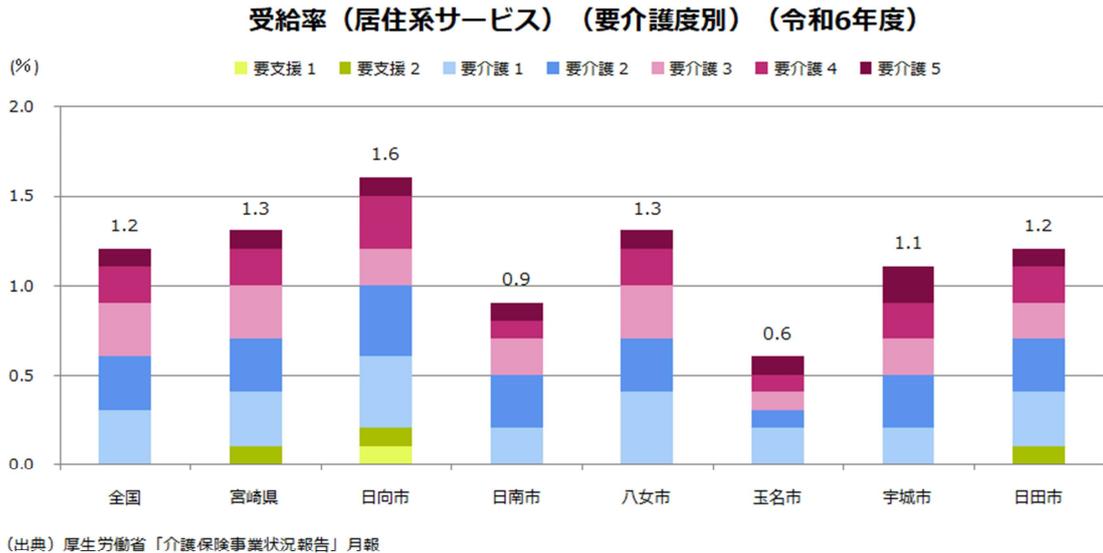
(2) 居住系サービスの受給率

※「居住系サービス」とは、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護のサービスです。

①令和6年度の居住系サービス受給率

本市の令和6年度の居住系サービスの受給率は、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比べて、高くなっています。特に、軽度者の受給率が高くなっています。

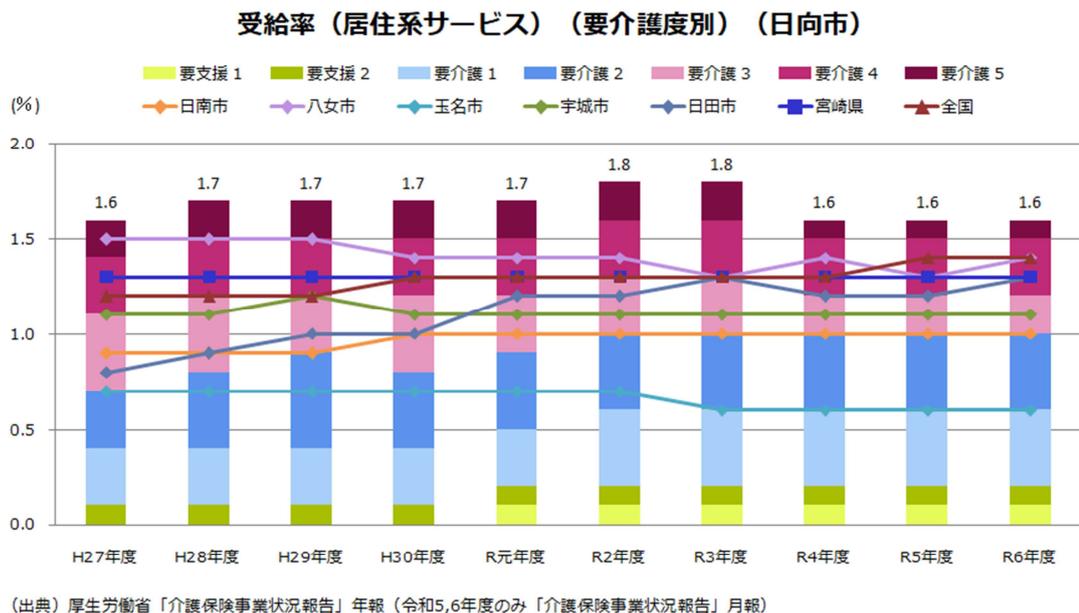
これは、「要支援・要介護者1人あたりの定員数」（第9期事業計画書P18参照）が多いことが影響していると推察されます。



②居住系サービスの受給率（時系列）

受給率を時系列で比較すると、ほぼ横ばいで推移しています。

また、どの年度においても、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比べて、高くなっています。



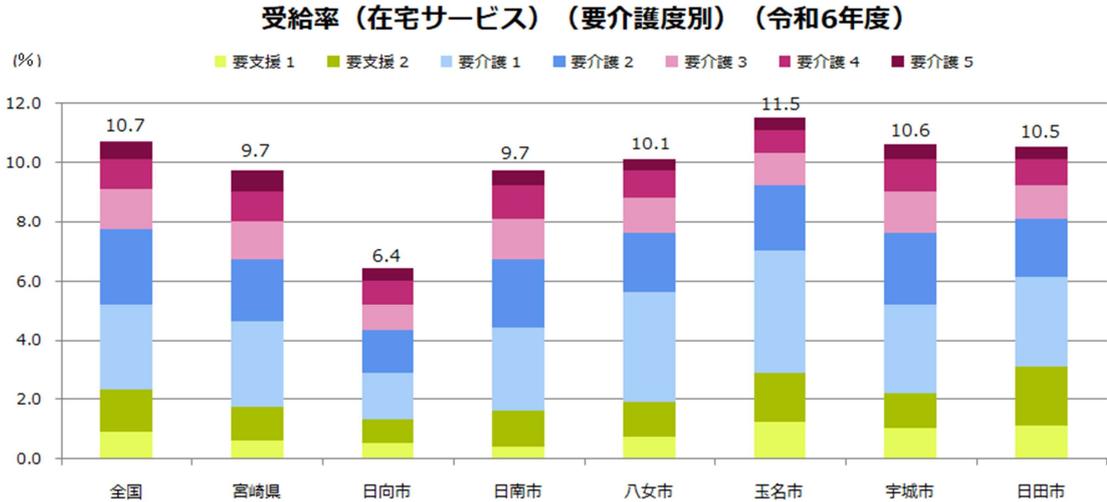
(3) 在宅サービス

※「在宅サービス」とは、「施設サービス」「居住系サービス」以外のサービスです。

①令和6年度の在宅サービス受給率

本市の令和6年度の在宅サービスの受給率は、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比べて、低くなっています。

これは、認定率の低さが影響していると推察されます。

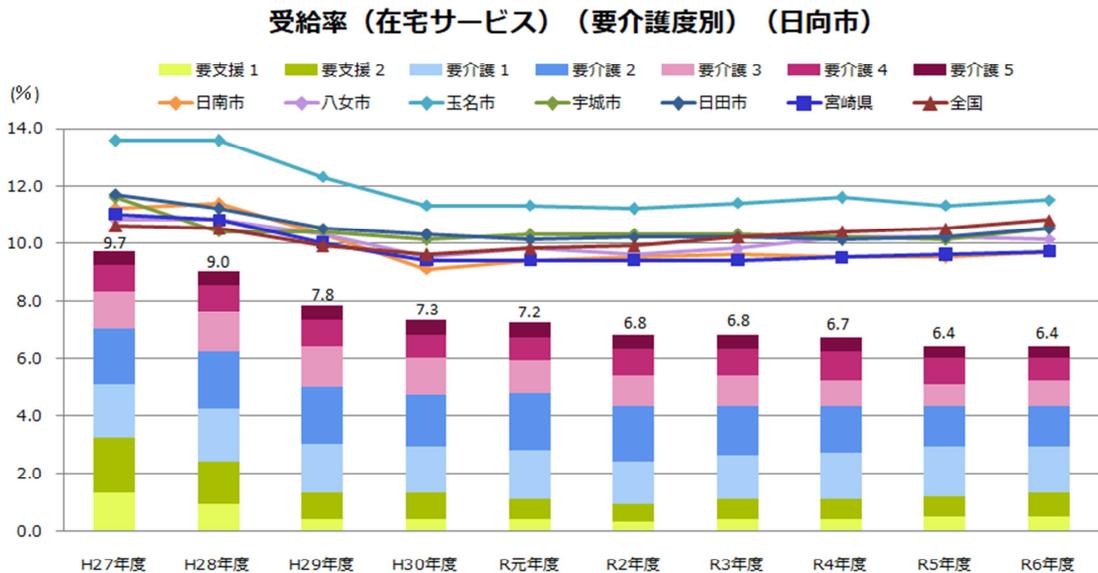


(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

②在宅サービスの受給率（時系列）

受給率を時系列で比較すると、減少傾向にあります。

また、どの年度においても、全国平均、宮崎県平均、類似保険者と比べて、低くなっています。

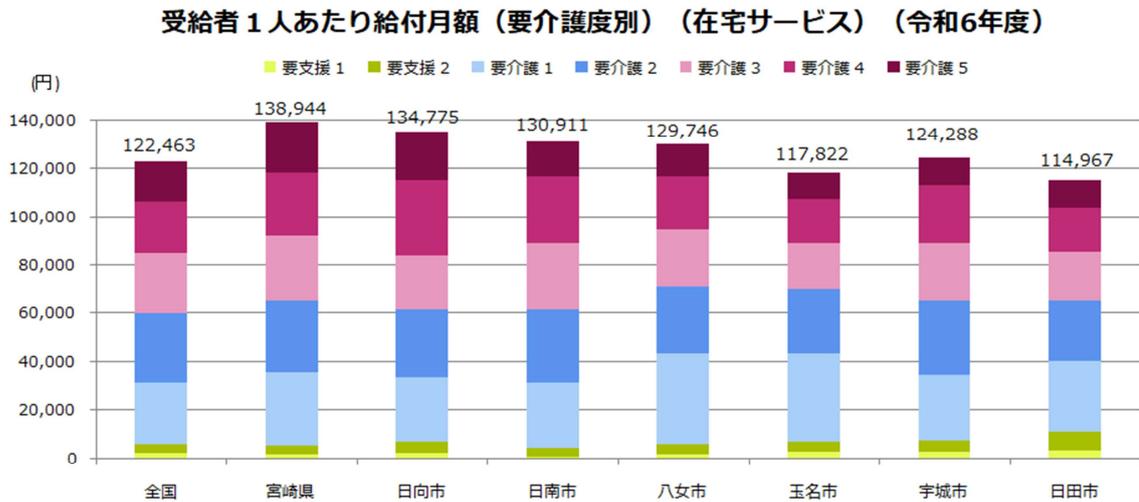


(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

5 給付月額について

(1) 受給者1人あたり給付月額（在宅サービス）

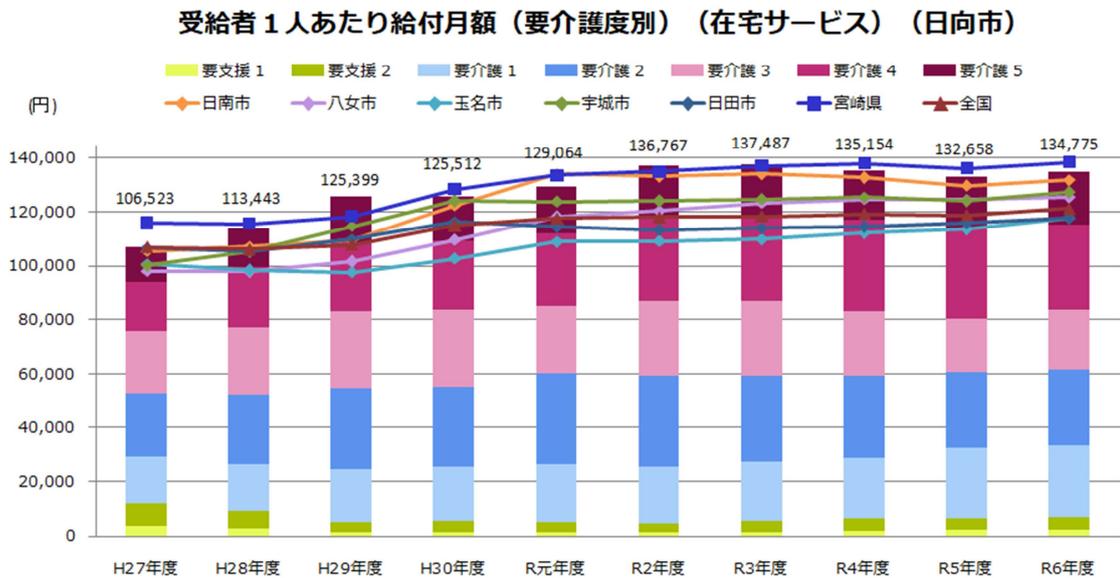
本市の令和6年度の在宅サービスにおける受給者1人あたり給付月額は、宮崎県平均と比べて低くなっていますが、全国平均、類似保険者と比較して、高くなっています。



（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

(2) 受給者1人あたり給付月額（在宅サービス）[時系列]

在宅サービスにおける受給者1人あたり給付月額を時系列で比較すると、令和3年度までは増加傾向でしたが、令和4年度からは、ほぼ横ばいで推移しています。



（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）